

2022 年 2 月 28 日

生産性と環境性能を追求した ファイバーレーザー加工機 “OPTIPLEX 3015 NEO”

ヤマザキマザック株式会社（社長：山崎高嗣、愛知県大口町、TEL：0587-95-1131）は、生産性と環境性能を追求した 2 次元ファイバーレーザー加工機「OPTIPLEX 3015 NEO」の販売を開始しました。

世界的に活況が続く半導体関連業界では、製造設備に使われる厚板部品の加工需要が近年増加しています。また、建設機械や農業機械業界などでは中板部品加工のさらなる高速化が求められています。当社はこうした市場の要請に応えるべく、中厚板の高速・高品質加工を可能にする OPTIPLEX 3015 NEO を開発しました。

通常、ファイバーレーザーはレーザービームの焦点面積が炭酸ガスレーザーと比較して小さいため、薄板の高速加工を得意としています。OPTIPLEX 3015 NEO は、ビーム径とビーム形状をコントロールする独自機能を搭載し、炭酸ガスレーザーを上回る焦点面積を得ることを可能としています。この機能に加えて 15kW の高出力発振器を搭載することで、中厚板の高速・高品質加工を実現しています。

また、OPTIPLEX 3015 NEO は新型 CNC 装置「MAZATROL SmoothLx」を搭載。「MAZATROL SmoothLx」は視認性の高いワイドスクリーンの採用により、直感操作を可能としています。また、操作盤上部のデュアルモニター（オプション）は、生産支援ソフトや機内カメラ映像を表示することができ、段取り作業などの高効率化を支援します。

当社は環境を重要な経営課題のひとつと位置付け、お客様の生産現場における脱炭素化に貢献する製品開発を進めています。OPTIPLEX 3015 NEO はファイバーレーザー発振器の特長である高いエネルギー変換効率により、同サイズの炭酸ガスレーザー加工機との比較において消費電力を 6 割削減しています。

今後も当社は、製品の性能向上と環境負荷低減を追求し、持続可能なものづくりへ貢献していきます。



※一部オプション仕様を含む

【OPTIPLEX 3015 NEO 外観】

掲載されているプレスリリースは、報道関係者へ発表した情報の要約です。
予告無く内容が変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください